

これからの 大山町教育を考える

きょういく
通信

大山町教育委員会事務局
☎ 0859 - 54 - 5211

教育関係者や保護者、町民など20人からなる大山町教育審議会では、幼児教育、学校教育、社会教育の各分野における諸課題を解決するため、3つの部会で審議をすすめています。

今後は、中間報告に対して出された意見を踏まえて部会審議と全体会審議を予定しています。1月上旬には、町教育委員会に対して答申が提出される予定です。

各部会の中間報告内容

<社会教育課>

「これからの公民館活動のあり方」について、先進地の視察を取り入れながら審議

- 【課題】
- 1 町内の各地域における活動の差
 - 2 公民館施設の老朽化
 - 3 多様化する公民館の役割と運営のあり方
 - 4 ボランティアの活用のあり方

【対策として今後検討していく事項】

- 1 公民館スタッフの公募
- 2 公民館事業の再構築

<幼児教育課>

町内保育所の実情視察を踏まえ、「これからの保育所のあり方」を中心に審議

- 【課題】
- 1 小児化による園児数の減少
 - 2 保育所の老朽化
 - 3 園児数が定員を超える保育所と定員の半分以下の保育所との不均衡
 - 4 正職員の割合と責任体制

【対策として今後検討していく事項】

- 1 保育所統合
- 2 保育所内容の充実



8月28日に開かれた全体会の様子。各部会の中間報告を受けて、活発な論議が展開されました

<学校教育課>

中学校生徒数の減少傾向を踏まえ、「これからの中学校のあり方」を中心に審議

【課題】

特に中学生の時期は、学校生活のさまざまな場面で、他者との多様な関わりを通して、自己を磨き、社会人としての基礎を築く時期であり、学習・学校行事・部活動などの充実を図るために適正規模の中学校を維持する必要がある。

【対策として今後検討していく事項】

- ①生徒数の減少が著しい中山中学校と名和中学校を統合し、2中学校とする場合
- ②3中学校を統合し、1中学校とする場合
- ③3中学校を維持しながら、特色ある取組を進める場合などを想定しながら、それぞれの場合にどのような課題が生じ、それをどのように解決していくかについて審議する。